

令和5年度予算に見る主要事業

中学校体育館・武道場に空調設備を設置 (中学校体育館・武道場空調設備等整備事業)

教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、体育館・武道場に空調設備等を整備するとともに、照明設備のLED化を行います。



日高公園・ミササガパークの再整備 (公園再整備事業)

市民の健康増進の場を創出するため、近隣公園の再整備に併せて、ウォーキングコースや健康遊具を設置します。また公園の魅力向上を図るため、公募により選定された事業者が、公園内に飲食店、売店等施設を設置し、その利益を活用して公園の整備、改修を一体的に行う公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用した再整備を行います。



市内中小企業者の新たな挑戦へ補助 (がんばる事業者応援事業)

商業の活性化を図るため、既に市内で商業を行う中小企業者を対象に、新たな挑戦や創意工夫をもった事業活動に対して店舗改装費や備品購入費等の補助を行います。



窓口でのキャッシュレス決済を導入 (キャッシュレス決済導入事業)

市民等の利便性の向上を図るとともに、非接触による感染症対策を講じるため、税務課、市民課及び富士松支所で交付する証明書の手数料等の支払いにおいて、キャッシュレス決済及びセミセルフレジを導入します。



電子書籍の閲覧システムを導入 (図書館ICT化事業)

市民サービスの向上、視覚障害者等への読書環境の整備及び学校教育への活用を図るため、電子図書館及び古典籍の検索・閲覧システムを導入し、解体新書等の貴重な古典籍が自宅のパソコン等から検索、閲覧できる環境を整えます。



SNS等を用いた健康教室等を開催 (高齢者健康増進事業)

介護予防及び介護状態の重度化防止等を推進するとともに、運動の習慣化や社会参加等を促すため、SNSを用いた動画配信や健康教室等を開催します。



令和5年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。本会議での質問質疑については、6、8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により、いずれも原案のとおり可決しました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。

討論では、保育士・幼稚園教諭及び教員の人材不足は喫緊の課題だが、独自の加配がなかったこと、貧困格差が広がる中、給食費の無償化についての予算が含まれていないこと、国民健康保険税の子供の均等割に反対の立場であること、年齢で分断する後期高齢者制度そのものに反対の立場であること、介護保険制度は、保険あつて介護なしの制度となっており、抜本的な制度設計の見直しを求めていることなどにより反対との意見が多数でしたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

「分科会での主な質疑」

■企画総務

救護物資物流体制構築事業

問 事業を始めた背景は。
答 本事業は、大規模災害の発生時に、被災者へ迅速かつ安定的に救護物資を供給するため、物資物流体制を構築することを目的としたもので、近年の大規模災害では、集積配送拠点において、救護物資の滞留が見られ、各避難所まで円滑に行き届かないなどの問題が生じていたことから、円滑な物流体制を構築するため、碧海5市では初めてとなる救護物資の物流体制に関するマニュアルの整備、これに基づく訓練を行うことで、体制の構築を目指すものである。
問 令和5年度予算の内容は。
答 令和4年度末に策定した地域内輸送拠点マニュアルに基づき、国や自治体から届けられ、プッシュ型の救護物資の円滑な受入れ、その後の仕分、各避難所への輸送を想定した訓練を実施するとともに、訓練結果の検証、マニュアルの見直し等を行う。

問 令和5年度予算の内容は。
答 令和4年度末に策定した地域内輸送拠点マニュアルに基づき、国や自治体から届けられ、プッシュ型の救護物資の円滑な受入れ、その後の仕分、各避難所への輸送を想定した訓練を実施するとともに、訓練結果の検証、マニュアルの見直し等を行う。

問 令和5年度予算の内容は。
答 令和4年度末に策定した地域内輸送拠点マニュアルに基づき、国や自治体から届けられ、プッシュ型の救護物資の円滑な受入れ、その後の仕分、各避難所への輸送を想定した訓練を実施するとともに、訓練結果の検証、マニュアルの見直し等を行う。

問 令和5年度予算の内容は。
答 令和4年度末に策定した地域内輸送拠点マニュアルに基づき、国や自治体から届けられ、プッシュ型の救護物資の円滑な受入れ、その後の仕分、各避難所への輸送を想定した訓練を実施するとともに、訓練結果の検証、マニュアルの見直し等を行う。

の申出をし、申出があった県内市町村の中から愛知県消防協会が選定し、最終的には12月に日本消防協会より出場の決定をいただいた。操法の種別については、軽可搬ポンプによる5人操法である。

問 参加することに対して市はどう捉えているか。
答 大会への参加は、女性団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることができるとともに、女性の消防団への加入促進にもつながっていくものと考えている。



女性消防団員の活躍を広く周知し、消防団への加入促進へ

■福祉産業

事業用脱炭素促進設備導入費補助事業

問 事業実施に至った背景は。
答 本市ではこれまで、事業者の設備投資等に対する支援を行ってきたが、今回脱炭素に特化した補助制度を実施することで、大きなウェイトを占める産業分野の脱炭素化を進め、2050年カーボンニュートラルを目指すものである。
問 申請者は、エネルギー管理士等が実施する省エネルギー診断を受け、CO₂排出量の削減

減に寄与する事業の提案を受け、その提案に基づき、CO₂排出量を10%以上削減することが見込まれる省エネルギー設備や再生可能エネルギー発電設備を導入する事業者に対して、1,000万円を上限に、設備導入費の2分の1を補助するものである。

問 申請ほどの程度を見込んでおり、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしているか。
答 同様の補助制度を実施している自治体からは、募集開始後、かなり早い時期に予算額の上限となる補助申請があったと聞いており、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしている。

問 申請ほどの程度を見込んでおり、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしているか。
答 同様の補助制度を実施している自治体からは、募集開始後、かなり早い時期に予算額の上限となる補助申請があったと聞いており、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしている。

問 申請ほどの程度を見込んでおり、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしているか。
答 同様の補助制度を実施している自治体からは、募集開始後、かなり早い時期に予算額の上限となる補助申請があったと聞いており、本市も多くの事業者から申請があると想定している。補助の適用については、年度ごとに削減効果の高い事業から順に予算の範囲内で採択し、できる限り多くの事業者に補助を適用できるように対応をしている。



削減効果の高い事業から、できる限り多くの事業者に補助を

■建設

魅力あふれる公園づくり事業

問 猿渡公園再整備工事では、Park PFIを活用し新たな取組をしているが、構想の実現に向けた他の取組にもその経験を生かしていくのか。

答 魅力あふれる公園づくり構想の実現には、ハードとソフトの両面を取り組んでいく必要があり、公共による施設だけではなく、民間との連携が必要となる。Park PFIの活用は公園整備や管理に係る財政負担を軽減しつつ、民間の創意工夫により公園利用者へのサービス向上を図ることができるよう、公園の魅力向上につながるような手段として今後も積極的に取り入れていきたいと考えている。

問 サウンディング型市場調査というものはどのようなものか、また、この調査をどのように生かしていくのか。
答 サウンディング型市場調査は、事業化の検討段階において、民間事業者の意見や新たな事業提案の把握を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法である。また、事業の検討段階で広く対外的に情報提供をすることにより、当該事業に対する民間事業者の理解の促進や、参入意欲の向上を期待するものである。調査結果については、事業手法の検討や実現性の把握に活用していく。



事業化の検討段階から民間の意見や提案を把握し、魅力ある公園整備へ

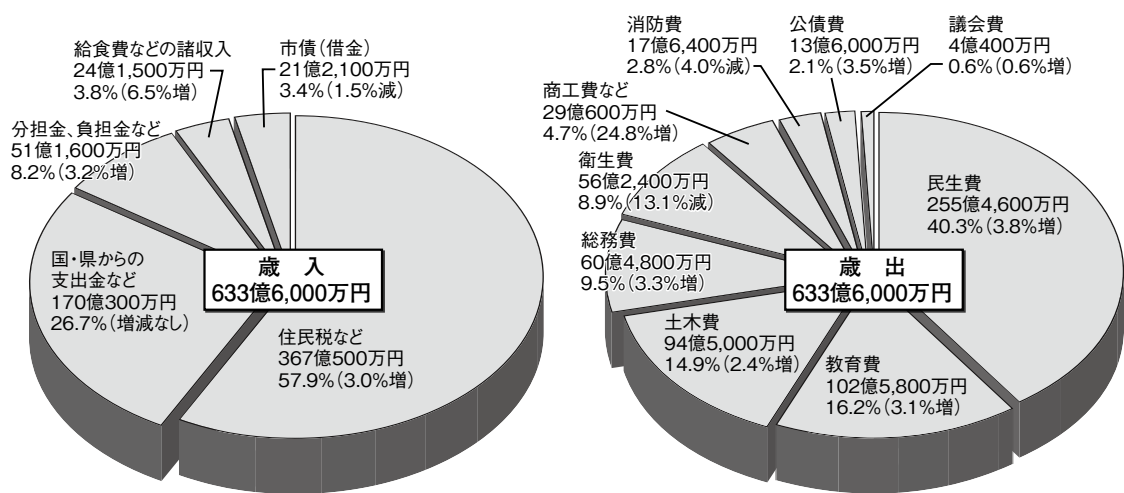
■市民文教
受付窓口改修事業
問 事業の詳細はどのようなか。
答 マイナンバーカードの普及に伴い、手続件数の増加が見込まれることから、窓口レイアウトを変更し、新たにマイナンパーカードに関する手続を専用受け付けの窓口を設置することにより、市民の方にとってより分かりやすい窓口を目指すことである。専用窓口の設置に併せて、マイナンパーカードの手続を対象に、氏名、住所、生年月日及び性別を、カードを活用して自動出力するシステムを導入し、書かない窓口の実現を図る。

問 マイナンパーカードの交付率はどれくらいか、また、書かない窓口の対象となる具体的な手続は何か。
答 マイナンパーカードの交付率は、2月末時点で59.3%である。また、書かない窓口の対象手続としては、マイナンパーカードの住所、氏名などの変更や電子証明書の更新などである。



市民にとってより分かりやすい窓口へ

一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
〈商工費などの内訳〉 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費
(注) それぞれの数字は四捨五入等をしてそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

5年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	985億9,400万円	23億4,600万円	2.4%
一般会計	633億6,000万円	13億6,000万円	2.2%
特別会計	245億400万円	1億3,000万円	0.5%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	8億4,400万円	▲1,200万円	▲1.4%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億2,200万円	▲1億6,600万円	▲57.6%
国民健康保険	115億8,600万円	▲7,000万円	▲0.6%
後期高齢者医療	22億100万円	2,000万円	0.9%
介護保険	97億5,200万円	3億5,800万円	3.8%
企業会計	107億3,000万円	8億5,700万円	8.7%
水道事業	44億6,500万円	1億7,000万円	4.0%
下水道事業	62億6,500万円	6億8,600万円	12.3%

※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください